



にじいろ通信

Rainbow color communication

一人はみんなのために みんなは一人のために



新国分生協病院

CONTENTS

- P2・P3 山下院長新年挨拶
- P4・P5 対談シリーズ「当院の小児科医療について」
- P6 部門紹介 薬剤部～『安全を約束する』という覚悟～
職員紹介～通所リハビリ～馬場理恵
- P7 2017 健康まつり報告
- P8 病院移転に伴うお知らせ



2018年新年明けましておめでとうございます

国分生協病院 院長
山下 義仁

旧年中は多数のご紹介や様々な連携等で大変お世話になりました。特に11月1日前後には新築移転の関係で、多大なご迷惑を先生方におかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、様々なご配慮とご協力に深く感謝申し上げます。おかげさまをもちまして無事移転が完了いたしました。

さて、その新病院について改めてご紹介申し上げたいと存じます。

まず救急患者さんの受け入れですが、救急車の搬入室を2室にしました。旧病院では2台の救急搬入に1室での対応がしばしばあり、それを解決することができました。それぞれで人工呼吸器管理も可能です。また、すぐ近くにCT室、MRI室を配置し、移動時間を短縮することができます。

内科外来は、慢性疾患の患者さんの待合を受付のすぐ横に配置して移動距離を短くし広くしました。中庭に面していて窓も広いため、明るくゆったり待てると好評です。窓際にはカフェテリアもあります。小児科では、ぞうやキリン、ライオン、アヒルなどたくさんの動物や鳥たちが話しかけているような楽しい気持ちになる待合です。血液浄化療法室は、地域からのご要望も強いことから最大57床まで増やせるようにしました。スタッフの充実を進めながら徐々に拡大していく予定です。

新たな取り組みとして、悪性疾患や膠原病の患者さん向けの外来治療室も3床設けました。12月から禁煙外来も開始しました。COPDや肺がん、虚血性心疾患をはじめとして多くの疾患の原因となる喫煙を何とかして止めたいと思っている方々の力になりたいと思います。

病棟は3階が地域包括ケア病棟で39床、4階と5階は7:1の一般病床で90床です。療養環境改善のために4床室を基本に個室も28床設けました。そのうち2床は陰圧個室です。差額ベッド料はこれまで同様、いただきません。窓も広く取り、南側の病室からは桜島を、北側の病室からは霧島連山を眺望できます。

リハビリ室も広くなり、今回脳血管Iのリハビリ、心大血管リハビリにも引き続き力を入れていきます。退院後の生活に支障をきたさぬ様、実際のトイレや浴室、調理台も設置しました。リハビリ室横にはリハビリガーデンを設け、砂利道歩行や階段昇降、植栽訓練も可能です。各病棟にも小リハビリ室を設け、移動の困難な患者さんのリハビリを行っています。

これからさらにこの霧島の地に根を下ろし、先生方のご期待にしっかりと応えられる「まちなか病院」として、心機一転、職員一同医療活動に取り組んでいく所存です。よろしくご指導、ご鞭撻のほどお願い致します。





内科待合室



透析室



病室



こども達の成長・発達を支援する
医療を提供出来ればと考えます。



対談シ 当院の小

小児科医師
酒井 勲

中野：国分生協院の小児科の沿革を教えて下さい。

酒井：当院小児科は1984年4月に開設しました。

1986年4月から小児科医2名体制となりました。たとえふたりとは言え複数居ることは心強いもので、夜間診療や「子育て学校」等の院内の活動だけに留まらず、喘息児サマーキャンプ、子育てを考える公開講座や人形劇公演などへの取り組みもあったようです。

1日平均外来患者数は1990年代半ばのピーク時は110名を超えていました。より専門的な知識や技術での対応を求められることも多くなり、また、地元で医療を提供する観点から、循環器・内分泌・腎・神経の特診日を設けるようになりました。



酒井医師の診察風景

ここ十数年来は、霧島市内においてわずか10床の当科の入院病床が、地域の先生方からのご紹介を賜り、また、救急車受け入れ等により、地域医療において御役に立てたのではないかと思っております。

そんな中、2014年3月には、小児科開設時以来となる小児科医ひとり体制となり、診療を縮小せざるを得ず、心苦しく感じておりました。



小児科待合

このような状況の中で当院は念願の新築移転に至り、おかげ様で昨年11月1日に新病院として開院することができました。霧島市シビックセンター隣の「街なかの病院」として、これまで以上に地域の住民の方々の要求・期待は高まるものと認識し、地域の先生方の診療の御役に立てるよう、安心・安全な診療を心掛けて参ります。

小児科の内分泌・腎の特診は今後とも行っています。

林：現在の小児科では、どの様な医療活動を行っているのでしょうか？

酒井：てんかんや発達障害等の小児神経疾患は、常勤の酒井が対応致します。金曜日若しくは第2・3土曜日を避けてご紹介頂ければ幸いです。小児リハビリも

リーズ 児科医療 について

4階病棟看護師
中野 秀美
外来看護師
林 由美

新しい環境の中で、地域の
期待に添えるような医療を
目指します。



行っています。
當時運用できます小児科病床は少なくなりましたが、
common diseaseの入院は引き続きお受け致します
のでお声掛けください。



小児リハビリの様子

当科では、子ども達の心身ともに健やかな成長・発達を支援する医療・保健サービスをご提供できればと願っております。同様に、地域での子育て支援・療育支援等にも関わって参りたいと存じます。こどもに安心な社会は、もちろん大人にも安心な社会であることを念頭に、住みよい社会づくりを目指します。

中野：新病院の小児科を教えて下さい。

酒井：新病院にはMRI機器を導入致しました。

新病院の小児科外来待合室は、愛らしいたくさんの動物の絵に囲まれています。発達障害を有する米盛

大翔さんが幼少期にパソコンで描いた絵を、縁あって、使わせて頂いたものです。小児科の病室は個室を基本にし、各部屋に洗面・トイレを備えました。兄弟そろって入院するような機会もありますので、2床部屋も設けています。プレイルームも設えてあります。

一般的には不採算部門と言われる病院小児科ですが、子どもへの投資は未来への投資だと認識しています。

林：Q今後の目標を教えて下さい。

酒井：小児科診療時間外の小児救急医療は、当院におきましては、内科医・外科医と外来スタッフの理解と協力で成り立っています。二次医療をいかに維持・発展させていくか、関係各機関とも連携して、有効な方策を追求したいと考えております。



小児科グループ



部門紹介

薬剤部～『安全を約束する』という覚悟～

どれほど革新的な新薬が登場しても薬物療法の安全を守る最後の砦は医師、薬剤師をはじめとする医療スタッフです。薬剤師は薬の専門家ではなく、薬の責任者になることが求められています。

現在、薬剤部は薬剤師6名、事務パート2名の体制です。新築移転を機に抗癌剤調製室を設置し、外来がん化学療法が開始されます。

新たな業務も加わり、個々のスタッフがこれまで以上に主体的に活動し、患者さんや他職種と十分にコミュニケーションをとりながら、調剤および患者さんの薬学的管理を行うことのできる能力を向上させ、日常業務に取り組むことを心がけています。

『一人はみんなのために、みんなは一人のために』病院理念に基づき、チーム医療における薬剤師の役割をしっかりと果たしていきたいと思います。



職員紹介

～笑顔で在宅生活を送るために～



通所リハビリ責任者 馬場 理恵

現在急速に高齢化が進んでおり、介護を必要とする方が増加しています。しかし少子化・核家族化等により家族だけで介護を支える事は困難な状況にあります。平成12年4月にスタートした介護保険制度の事業所の一つが通所リハビリテーション（略称デイケア）です。デイケアは自宅での生活を基本として、通いで体調管理、入浴、リハビリ、脳活性等実施します。自宅での生活を安心して送れる様に、利用者と同じ目線でリハビリスタッフと共に支援を行います。国分生協病院デイケアは、医療要求度の高い利用者の受け入れも行なっており、体調管理面では病院・主治医との連携を密に図っています。

自部署はスタッフ看護師、介護福祉士12名、理学療法士2名で日々の支援を行っており、家族からの情報やその日の体調から必要時は自宅訪問を行って自宅での環境整備や家族への指導等も行います。1日平均利用者数27名前後と慌ただしい毎日を送っていますが、「元気になった」「笑顔が多くなった」「デイケアに来ないと寂しい」など本人・家族からの嬉しい言葉を耳にして、スタッフが元気をもらう日々です。デイケアに通い、元気になり、癒されながら自宅に帰って生活を安心して送れる…そんな当たり前の日々と一緒に喜べる、利用者に近い存在でこれからもありたいと思います。



<プロフィール>

- 1997年 国分生協病院 入職
- 2000年 川辺生協病院 赴任
- 2002年 介護支援専門員取得
- 2004年 国分生協病院 赴任
- 2005年 吉野生協クリニック 赴任
- 2012年 国分生協病院 赴任
- 2014年 国分生協病院 通所リハビリテーション責任者 赴任
- 2016年 認知症ケア専門士取得



健康まつりを開催しました

去る2017年10月15日（日）、新病院の駐車場で「国分生協病院新築移転記念 地域まるごと健康まつり」を開催いたしました。

今回の健康まつりは地域住民に新国分生協病院を紹介し、地域の諸団体や住民との交流、つながりをつくる機会とすることを目的とし、ステージ発表、模擬店、健康チェック、内覧会を行いました。

新病院の内覧会は祭り開始時点から長蛇の列ができ、1,500名の方々に見て頂くことが出来ました。当院の新築移転に対して、地域住民の期待を感じる機会となりました。

健康チェックは付属棟で実施しましたが、会場に入りきらないくらいの人が列を作り、400名ほどの健康チェックや医療相談を受けることが出来、地域の予防医療活動に貢献出来たかと思います。

当日は、地域の皆様が来てくださるか不安でしたが、約4,000名の来場者に恵まれ、多くの交流を図ることが出来、大盛況に終えることが出来ました。

新築移転に向けた取り組みの一環として行いました健康祭りでしたが、地域の皆様に支えられて成功したものと考えています。これからも、地域に根差した医療活動、また医療活動以外でも地域での取り組みに積極的に参加していきたいと思います。



ステージ発表の様子



健康チェックの様子



内覧会の様子



模擬店の様子

病院移転に伴うお知らせ

国分生協病院 病院長 山下義仁

拝啓、時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当院との医療連携につきましては格段のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、当院は昨年11月1日(水)に新築移転を行いました。移転に伴い、住所が変更となりましたので、お知らせさせて頂きたいと思います。(電話番号、FAX番号は変更ありません)

新病院では、MRIや化学療法室の導入を行い、よりよい医療を患者、地域の皆様に提供できるようにしたいと考えています。今後とも、御紹介等も含めて、当院との連携の程よろしくお願ひいたします。

敬 具

2018年 1月外来体制表 国分生協病院

		月	火	水	木	金	土
午 前	一般内科 (8:45~12:00)	樺田祐一	吉 見	交 替	樺田祐一	交 替	樺田祐一
	専門 外来 (8:45~ 11:00)	循環器	吉 見	柴 田	吉 見	吉 見	吉見(第1・3・4)
	呼吸器	山 下	樺田祐一	隈 元		樺田祐一	山下(第1・3)
	消化器・肝臓			長 谷	小坂元	長 谷	長谷(第2・4)
	腎・膠原病	前 村	吉 峯		上 村	上村(第1・3)	
	神経内科				田 代		
	外 科 (9:30~12:00)	鈴 東		税 所		税 所	
午 後	小児科 (9:00~12:00)	酒 井	酒 井	酒 井	酒 井	【一般+特診】 森田(第1・3)徳永(2) 玉江(第4)	交 替 2週目休診
	内 科	予約のみ 14:00~16:00	山下(禁煙外来)				
		15:00~17:00	樺田祐一	樺田祐一	交 替	交 替	
		予約のみ 15:00~17:00		大久保	田代(神経内科) 大久保	山 下	
		17:00~18:30	交 替	交 替	交 替	交 替	
	小 児 科	予約のみ 予防接種/健診 14:00~16:00	(14:00~16:00) 酒井 ※予約制:予防接種+健診		(14:00~16:30) 酒井 ※予約制:予防接種のみ	(14:00~16:00) 予約のみ 特診(1・3)森田 心特診(2)徳永 腎特診(4)玉江 ※(森田のみ14:00~ 17:30)	
		16:00~18:30 (金曜は予約のみ)	(16:00~18:30) 酒井 (一般+予約)		(17:00~18:30) 酒井 (一般+予約)		

※緊急紹介、入院が必要な方の紹介に関しては、上記体制に限らないので、お電話をお願いします。

※CKDネットワークに関する紹介は、腎臓内科担当医の予約を取って頂くよう、お願いします。

※内科の専門外来に関しては予約制となっています。予約がない場合は一般内科外来担当医で対応させて頂きます。

※火曜日の14時より禁煙外来を新設しました。予約制になりますので、ご希望の方はご連絡をお願いします。

新病院住所 〒899-4332 霧島市国分中央3丁目38-14
新病院連絡先 TEL 0995-45-4806 FAX 0995-45-4938



**鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院**

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目38-14
電話(0995)45-4806 FAX(0995)45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp/>